

第2回 第5次茅野市総合計画策定全体ミーティング 次第

日時：平成29年10月5日（木）

午後6時30分

場所：市役所8階大ホール

1 開会

2 挨拶

3 案件

(1) 第5次茅野市総合計画の構成等について **資料1**

(2) 目指すべき将来像について **資料2**

4 その他

5 閉会

第2回第5次茅野市総合計画策定全体ミーティング 名簿

(敬称略)

	団体名	役職等	氏名
1	福祉21茅野	代表幹事	小口 晋平
2	福祉21茅野	幹事	奥 知久
3	第2次茅野市食育推進計画策定委員会	委員長	宮下 昇子
4	からだ・こころ・すこやかプラン推進委員会	委員長	林 直樹
5	茅野市環境審議会	会長	定成 寛司
6	茅野市環境審議会	副会長	小池 正雄
7	第3次茅野市こども・家庭応援計画策定委員会	委員長	山田 周平
8	第3次茅野市こども・家庭応援計画策定委員会	副委員長	依田 京美
9	社会教育推進計画策定委員会	委員長	宮坂 昌一
10	こども読書活動推進計画策定委員会・文化芸術振興計画策定委員会	委員長	五味 一男
11	多文化共生推進員	—	岡元 春美
12	NPO法人茅野国際クラブ	会長	嘉瀬 清司
13	縄文プロジェクト実行市民会議守る部会	部会長	鶴飼 幸雄
14	茅野市スポーツ推進委員会	委員長	田中 正治
15	農業振興ビジョン策定部会	副部会長	中島 剛司
16	林業振興ビジョン策定部会	部会長	伊東 英夫
17	林業振興ビジョン策定部会	副部会長	田中 文明
18	商業振興ビジョン策定部会	部会長	伊藤 清隆
19	商業振興ビジョン策定部会	副部会長	長田 幸子
20	工業振興ビジョン策定部会	部会長	小笠原 弘三
21	工業振興ビジョン策定部会	副部会長	宮坂 貴代治
22	工業振興ビジョン策定部会	副部会長	矢島 芳美
23	建設産業振興ビジョン策定部会	部会長	篠原 敏
24	建設産業振興ビジョン策定部会	副部会長	春山 晴夫
25	建設産業振興ビジョン策定部会	副部会長	小林 義正
26	建設産業振興ビジョン策定部会	副部会長	田村 庄市
27	都市計画審議会	会長	宮坂 孝雄
28	景観形成緑化推進部会	部会長	森元 隆
29	景観形成緑化推進部会	副部会長	保科 秀子
30	茅野駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会・茅野市地域情報化推進ネットワーク	会長・代表幹事	奥原 正夫
31	茅野駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会	副会長	杉本 浩美
32	茅野市行財政改革推進市民委員会	委員長	金子 好成
34	茅野市行財政改革推進市民委員会	副委員長	鳥居 陽介
35	茅野市地域情報化推進ネットワーク	副代表幹事	上野 さつき
36	茅野市地域情報化推進ネットワーク	副代表幹事	河西 朝雄
37	茅野市総合計画審議会（都市計画審議会）	会長（副会長）	矢崎 敏臣
38	茅野市総合計画審議会（男女共同参画推進会議）	副会長（部会長）	高村 志保

第1回第5次総合計画策定全体ミーティング会議内容骨子

開催日時：平成29年5月24日（水） 18：30～21：00

会場：市役所8階大ホール

主な内容：

(1) 第5次茅野市総合計画について

総合計画の構成、計画の特徴や市民プランとのつながり、策定スケジュールについて説明
<ポイント>

- ・現在は、市民プランと分野別計画が別々にあり、屋上屋を重ねているため、第5次総合計画の中に分野別計画を位置づけ、無駄のない計画を作る。
- ・分野別計画の策定を通して、重複している計画は整理統合し、カバーしきれていない分野があれば、あらたに計画を位置付け、全体として計画体系づくりを行う。

(2) 茅野市を取り巻く時代の流れとこれからのまちづくりの課題について

人口減少・少子高齢化、変化する社会・経済への対応、技術革新、ネットワークの広がり、環境意識の高まり、防災意識の高まりの6項目で整理した現状と課題や対応方針（案）等に対する意見交換

<主なご意見>

国のコンパクトシティ政策、観光やグローバル化への取組強化、産業振興などにおける他市との連携強化、高齢者の社会参加や雇用活用を促すしくみの構築、外国人住民への取組、社会保障制度や収入の分配の見直し、環境分野での取組などに対する意見が出された。

出されたご意見については、今後の分野別計画の策定の中で、検討していくこととなった。

(3) 第5次茅野市総合計画体系(案)について

都市将来像を頂点として、まちづくりの基本指針、政策としての基本政策・政策横断プロジェクト、各政策において分野別計画をカートリッジのようにはめ込む体系（案）を説明

<主なご意見等>

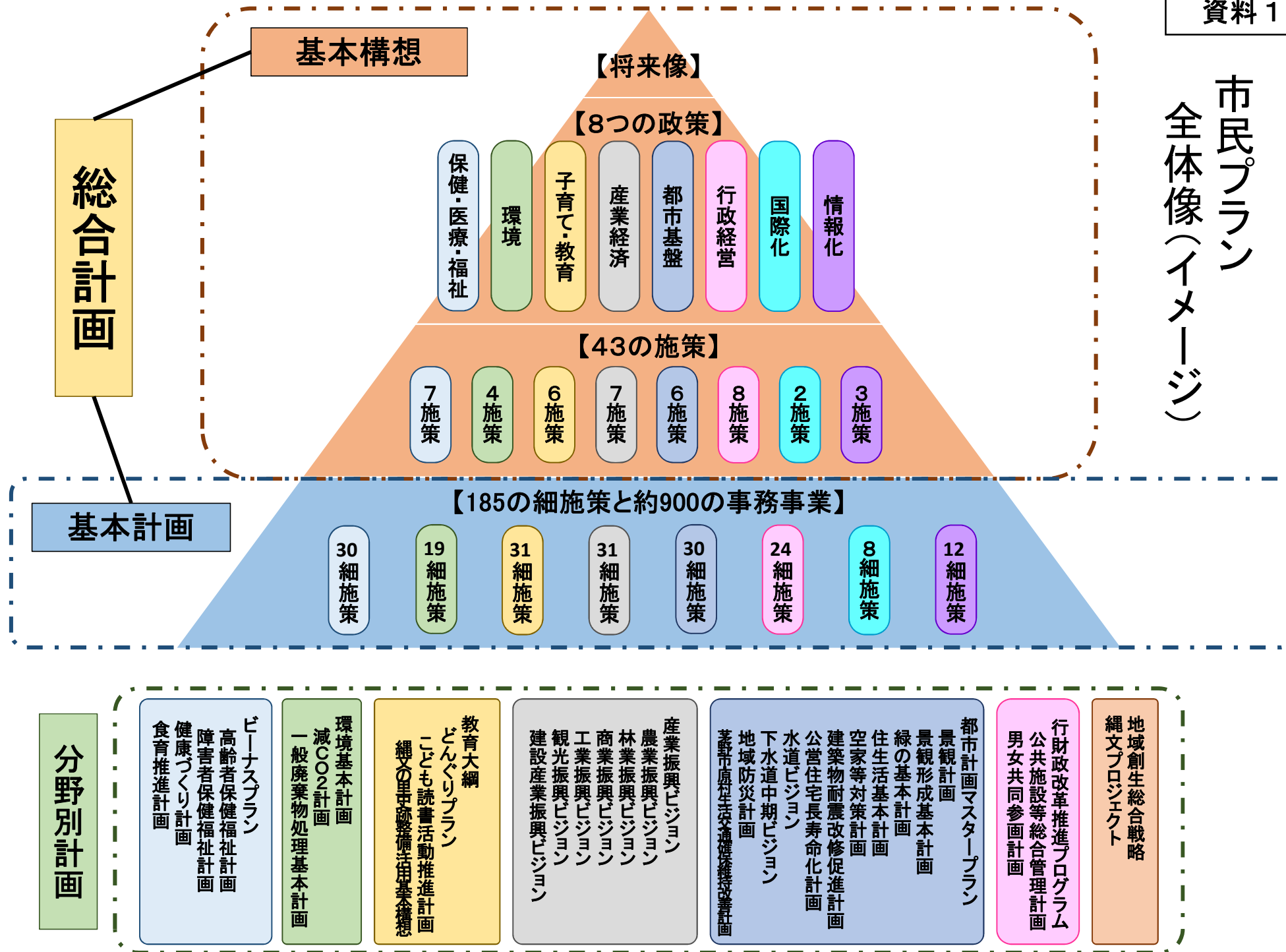
・どんぐりプランや環境基本計画など1つの政策に収まりきらない計画の位置付けや、各政策間の連携を推進していくためには、カートリッジではめ込むといった考え方では難しいのではないか。

⇒体系はあくまで主となる政策に位置付け、これまで以上に政策間や事業間での連携を進めていく

・計画全体の中で、最終的には重みづけ・優先順位づけが必要であり、そのためにもあるべき姿を踏まえての議論が必要ではないか。

⇒将来像を検討し、共有していくとともに、まちづくりの基本指針や進行管理の中で重みづけや優先順位付けの仕組みを検討していく。

市民プラン
全体像（イメージ）



第5次茅野市総合計画 全体像（イメージ）

基本構想

【将来像】

【まちづくりの基本指針】

【基本政策・政策横断プロジェクト】

保健・医療・福祉

環境・市民生活

子育て・教育・文化

産業経済

都市基盤

政策横断プロジェクト

行 政 経 営

総合計画審議会

第5次茅野市総合計画策定全体ミーティング（情報共有等の場）

分野別計画策定組織

総合計画

基本計画Ⅱ分野別計画

- 高齢者保健福祉計画
- 障害者保健福祉計画
- 健康づくり計画
- 食育推進計画
- ビーンズプラン

- 環境基本計画
- 減CO2計画
- 一般廃棄物処理基本計画

- 教育大綱
- どんぐりプラン
- 生涯学習推進指針
- 社会教育推進計画
- こども読書活動推進計画
- スポーツ推進計画
- 文化芸術振興計画
- 縄文の里跡整備活用基本計画

- 産業振興ビジョン
- 農業振興ビジョン
- 林業振興ビジョン
- 商業振興ビジョン
- 工業振興ビジョン
- 観光振興ビジョン
- 建設産業振興ビジョン

- 茅野市原村生活交通維持改善計画
- 下水道中期ビジョン
- 都市計画マスタープラン
- 都市基盤整備計画
- 立地適正化計画
- 駅周辺地区ハリアクリー基本構想
- 景観計画
- 景観形成基本計画
- 緑の基本計画
- 住生活基本計画
- 空家等対策計画
- 建築物耐震改修促進計画
- 公営住宅長寿命化計画

- 行政経営基本計画
- 公共施設等総合管理計画
- 男女共同参画計画

- 地域創生総合戦略
- 地域防災計画
- 縄文プロジェクト
- 多文化共生・交流促進計画
- ICT活用戦略

第5次茅野市総合計画 策定スケジュール

		茅野市総合計画審議会		全体ミーティング	分野別計画	議 会	
平成29年	2月	上			分野別計画の策定(担当課・分野別市民会議・各審議会等)		
		中	第1回審議会	委員委嘱、正副委員長選出、審議会の役割・スケジュール・策定方針等の説明 → 諮問			
		下					
	3月	上					【3月全協】 審議会設置報告
		中					
		下					
	4月	上	第2回審議会	現状と課題の整理、政策体系(案)の検討①			
		中					
		下					
	5月	上	第3回審議会	現状と課題の整理、政策体系(案)の検討② ⇒ まとめ(パブコメ案)	第1回全体ミーティング ・現状と課題の整理 ・政策体系		【5月全協】 パブコメ①内容説明
		中					
		下	↑				
	6月	上	パブリックコメント(1回目)	現状と課題 政策体系(案)			
		中	↓				
		下					
	7月	上					
中		第4回審議会	パブコメ結果報告 将来像の検討①				
下							
8月	上						
	中						
	下	第5回審議会	将来像の検討②				
9月	上						
	中						
	下						
10月	上			第2回全体ミーティング ・将来像			
	中						
	下	第6回審議会	基本理念、将来展望人口、土地利用構想、進行管理方法の検討				【11月全協】 パブコメ①結果報告、将来像、基本理念、将来展望人口、土地利用構想、進行管理方法説明
11月	上			第3回全体ミーティング ・基本理念、将来展望人口、土地利用構想、進行管理方法			
	中	第7回審議会			基本構想(素々案)の検討		
12月	上			第4回全体ミーティング ・基本構想(素々案)			
	中	第8回審議会	基本構想(素案)の決定				
	下						
平成30年	1月	上		↑			【1月全協】 基本構想(素案)説明
		中	パブリックコメント(2回目)	基本構想(素案)			
		下	↓				
	2月	上					【2月全協】 パブコメ②結果報告
		中	第9回審議会	基本構想(案)の答申			
		下					
3月	上					【3月議会】 基本構想(案)議案提出	
	中						
	下			↓			

第5次茅野市総合計画 目指すべき将来像候補

八ヶ岳の自然、人、技、歴史が織りなす

やさしさと活力あるまち

The city full of kindness and vitality

woven with the threads of Yatsugatake nature, people, craft and history

【将来像に込めた想い】

茅野市は、八ヶ岳連峰を代表する雄大な自然に抱かれて縄文時代以来の長い歴史を歩んできました。長い時間（とき）をかけて培われた、「自然との共生」、「人と人とのつながり」、「生きる糧となる産業」、「縄文文化や代々引き継がれてきた伝統」は、私たち茅野市民の誇りであり、財産です。

これから先の日本は、そして、茅野市は、いまだかつて体験したことのない人口減少・少子高齢社会へ進んでいきます。そういった時代においては、これまで培ってきた誇りや財産を次世代に残しつつ、まちの営みを構成する様々な要素を組み合わせ、紡いでいくことが、暮らしやすく、より住み心地の良いまちを形づくっていきます。そして、そうした「まち」には、やさしさと活力が満ち溢れています。

そこで、第5次茅野市総合計画で目指すべき将来像を上記のように決めました。

それぞれの言葉に込められた意味

「八ヶ岳の自然」…茅野市の誇れる象徴

「人」…人と人とのつながり、コミュニティの絆、支え合い、ひとづくり、「まち」の基礎的要素

「技」…産業、稼ぎ出す、活力の源

「歴史」…縄文文化、伝統、生活様式、文化

「織りなす」…複数の要素を組み合わせ、優れた全体像を成す

「やさしさ」…人間が生きていくために必要なこと、支え合い、品位、パートナーシップのまちづくり

「活力」…雇用の創出、市民の誇り、新たなことを産み出す、人口減少に立ち向かう

※将来像のうち「やさしさと活力あるまち」の部分については、総合計画審議会でも様々な意見が出たところであり、「支え合いのまち」や「文化の香り高いまち」が良いといった意見がでました。現時点では、「やさしさと活力あるまち」としてはいますが、第5次茅野市総合計画策定全体ミーティング等での意見を踏まえ、最終案を決めていきます。

【参考】

茅野市民憲章

わたくしたちの茅野市は、八ヶ岳連峰に象徴される美しい自然に恵まれ、縄文文化以来の長い歴史をもつ、未来に羽ばたく青年都市です。

わたくしたちは、先人の努力に培われた伝統を受けつぎ、茅野市民としての誇りと責任をもち、人間性豊かな、明るく活力あるまちづくりをめざし、市民の総意によりこの憲章を定めます。

わたくしたちは、

- 1 恵まれた自然を大切にし、環境をととのえ、美しいまちをつくります。
- 1 すすんで協力しあい、心のふれあう、あたたかなまちをつくります。
- 1 教育に力をそそぎ、郷土を愛し、文化の香りたかいまちをつくります。
- 1 働くことに誇りと喜びをもち、活気ある豊かなまちをつくります。
- 1 心身をきたえ、健康で、明るく住みよいまちをつくります。

昭和57年7月1日 制定

第2回 第5次総合計画策定全体ミーティング会議内容骨子

開催日時：平成29年10月5日（木） 18：30～19：50

会場：市役所8階大ホール

(1) 第5次茅野市総合計画の構成等について

市民プランと第5次総合計画の構成の比較、全体ミーティングの位置付け、策定スケジュールについて説明

<主なご意見>

- ・市民プランを策定するときは、円卓会議で基本計画と分野別計画の整合を図ってきた。総合計画審議会には、各分野から関係者から委員が選出されているが、各分野別計画の策定責任者ではない。全体ミーティングでの情報共有だけでは難しいのではないかと。
- ⇒5次総では、基本計画に分野別計画を当てはめることとし、基本構想と基本計画（分野別計画）の策定を並行して進めている。基本構想と基本計画間の情報共有や調整の場として、全体ミーティングを活用するとともに、様々な場面を通じてご意見をお寄せいただきたい。また、総合計画審議会の委員については、基本構想への新たな視点を取り入れたいという意図で、委員の人選をさせていただいた。

(2) 目指すべき将来像について

将来像の候補、将来像に込めた想い、それぞれの言葉に込められた意味について説明

<主なご意見>

- ・インパクトがない。どこにでも当てはまるような感じがするが、これでも良い。
- ・優しみのある言葉が並んでおり、とてもいい言葉だと思う。
- ・子どもが読んで分かるような砕けた表現が良い。観光に関するフレーズ（蓼科）がない。
- ・キーワードは全て入っていると思う。「やさしさと活力あるまち」の部分もこれで良い。
- ・「織りなす」や「紡いで」という言葉が好き。何を横糸とし、何を縦糸として織りなしていくのか、これから考えていけばより良いものになるのではないかと。
- ・「やさしさと活力あるまち」の中にどういったものが含まれているのか、もっと説明すべきではないかと。全体的には良いと思う。
- ・この位の分量で良いと思う。外国籍の住民にこの言葉を聞かせたら、どのように聞こえるのかに関心がある。
- ・大変良い将来像だと思う。説明文の文言をもう少し修正した方が良い。
- ・「八ヶ岳」に茅野市としてのインパクトがある。「やさしさと活力あるまち」でとても柔らかなイメージになり、とても良い将来像だと感じた。
- ・第一印象は漠然とした印象であったが、将来像に込められた意味を見て腑に落ちた。
- ・「やさしさと活力あるまち」にもう少し工夫が欲しい。初めて見た人が「やさしさ」って何なのか分からないと思う。簡単で分かりやすい言葉の方が良いのではないかと。
- ・「活力あるまち」ではインパクトに欠ける。この将来像を子どもたちが理解して、10年後の目

標をもてるのか疑問である。「将来像に込めた想い」の文章も読みにくい。もっとインパクトのある将来像を考えてもらいたい。

- ・もう少し短い文章の中で、インパクトがあり分かりやすいフレーズを考えた方が良い。
- ・製造業ではAIの活用が進んでおり、5年後には人が余るような時代になる。人づくりの向上のために教育が大切になる。
- ・茅野市にとって、緑と景観はとても大切である。「八ヶ岳の自然」は入っているが、「蓼科」も入れるべきではないか。また、「緑」という言葉も欲しい。
- ・茅野市の全てを表現した文章でとても良いと思う。「それぞれの言葉に込められた意味」を読むことで、これから目指す姿が見えてくる。
- ・何を重点的に考えているのかが見えない。産業や都市基盤に力を入れるような、攻めに出るものを目標にしたらどうか。「歴史」という言葉は「文化」の方が良い。
- ・特に異論はないが、少し長いと思った。
- ・市民に根差した持続性をもった方向性が良い。転入者を迎えることを考える方向性も必要。「豊かな」という一言があれば変わってくる。
- ・込めた想いの文章で、前半は良いが、後半は茅野市のことという感じがしない。言葉一つひとつは良いが、どうとでも取れる。
- ・優等生のようなまとめ方。これから諏訪地域を引っ張っていく市なので、もう少し強い言葉が欲しい。「歴史」の意味にも御柱など具体的なものが必要。
- ・これから行財政運営が厳しくなる中で、税収を増やすとともに、費用の選択と集中や削減ということも考えなければいけない。「将来像に込めた想い」の中に、「費用を抑えつつ」といったフレーズが欲しい。
- ・1回見ただけでは頭に入ってこなかったが、たくさんの想いや言葉をまとめるとこうなるのか、という感想。
- ・茅野市は空気が良くておいしい水がある。それを活かせる産業を起こして雇用を創出していくような、茅野市の良いところを強調してみたらどうか。
- ・「八ヶ岳」を「富士山」に変えると、静岡や山梨の市町村の将来像になる。茅野市のオリジナリティ、オンリーワンを散りばめてもらいたい。「縄文」と「現代人」をつなげるようなフレーズが欲しい。英語訳はもう少し違った表現があるのではないか。

(3) その他

- ・情報共有が目的であれば、文書を送付したり、それぞれの事務局から説明したり、こんなに頻繁に全体ミーティングを開催しなくても良いのではないか。
- ⇒丁寧な説明をしていきたいという想いから全体ミーティングを設定している。それぞれの事務局を通じて、今後、全体ミーティングをどうするか調整させていただく。
- ・多文化共生が横断プロジェクトになったが、各分野別計画の策定がどこまで進んでいるのか、それが多文化共生にどう関わってくるのか分からない。
- ⇒各分野別計画の中で、横串としてどう多文化共生に関わっていくのか、庁内調整をする中で、計画策定に反映させていく。